

# ひとつぶ 農業委員会 だより

第31号  
2019年8月発行  
編集・発行  
比布町農業委員会  
(0166)85-4809



西本龍一さん（16区）は、平成21年に就農し今年で10年目。父・勲さんから平成29年に経営を受け継ぎ、水稻を中心に、いちご、大豆、麦などを作っています。

今年のいちご狩りには、新品種「ゆきララ」も登場。ケンタロウと合わせて1万5千本のいちごの苗が並び、休日には1kmを超える車の列ができるそうです。

平成30年、西本さんを含む若手農家4人で「Next Peak（ネックスピーク）」を設立。野菜等の直売所「NANA PLAZA（ナナプラザ）」を運営するなど精力的に活動されている西本さん、これからも目が離せません。

- 表紙：西本 龍二さん
- 全国農業委員会長大会等報告
- 令和元度農業委員会活動計画
- 農地のあっせん申し出状況
- 泥んこだらけのバレー大会を開催
- 農業委員会からのお知らせ
- 農業委員会からのお願い
- 農業者年金・全国農業新聞
- 編集後記

# 全國農業委員會長要請集會 北海道選出國會議員出席報告



5月26～28日、上川管内21市町村の会長、会長職務代理者、事務局長など25人が、全国農業委員会会長大会及び北海道選出国会議員要請集会に参加しました。

比布町からは、佐藤芳隆会長代理が参加しましたので、その活動内容を報告いたします。

一般社団法人全国農業会議所主催による「全国農業委員会会長大会」が去る5月27日に東京都の文京シビックホールで開催されました。全国から農業委員等関係者約1,800人が参加し、「食糧・農業・農村政策の強化に向けて～人と農地対策を通じた地域の再生を目指して～」他3件の議案が満場一致で可決されました。

また、同日の午前中は、一般社団法人北海道農業会議主催による「北海道選出国会議員要請集会」が永田町の星陵会館で開催されました。衆参両議院から18人の議員が出席され、要請の内容はすべて重要な案件とし、今後もしっかりと農政に取り組んでいくことを確約されました。

では、衆議院議員の佐々木隆博氏、参議院議員の小川勝也氏の議員会館を訪問。上川の農業が持続的に発展していくためには、安定的な農業経営体の育成・確保、経営基盤の強化を促進する各種施策の展開が重要であるとして、「今後の農業政策等に関する要望書」を小林彦一会長（南富良野町）から手交しました。

1 活動の目標（要略）

- ①地域に根ざした農業委員会活動の強化  
農業委員一人ひとりが地域における実践活動の担い手として、効率的・安定的な農業経営の育成を図るまでの役割を發揮し、現場の課題解決に向けた積極的な諸活動を展開します。

**強化** 農家の持続的経営と振興のため「人・農地プラン」を軸として地域の自主性に配慮した利用集積により優良農地の確保と有効利用を進めます。

- ①担い手育成対策
  - ②地域農業振興対策
  - ③遊休農地対策
  - ④情報活動の推進
  - ⑤意見の具申等
  - ⑥農業委員会体制の

農業委員会では、毎年活動計画を作成し、地域農業者の代表として本町農業の振興と公正・公平な農地制度の運用に取り組んでいます。

# 令和元年度 農業委員会活動計画

# 農地のあっせん 申し出状況

農地の売買・賃貸借の申し出状況は、下表のとおりです。（令和元年6月30日現在）

農地移動適正化あっせん事業により、農地等の買受・売渡を希望される方の「あっせん申し出」を受け付けています。

この事業で行われた売渡には、譲渡所得の特別控除等の特別措置があります。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。  
(☎ 85-4809)

## 売りたい（現在賃貸中）

番号	所在地	地目	面積(ha)
1	北2線10号	田	7.5
2	北6線10号	田	0.9
3	北6線14号	田	3.9
4	北5線12号	田	4.7
5	北7線10号	田	3.9
6	北5線6号	田・畠	6.4
7	北1線9号	田・畠	3.9
8	緑町1丁目	田	0.5

※賃貸期間中は、借主の耕作が優先となります。

※8番は農用地区域外のため、農地移動適正化あっせん事業の対象外です。

## 売りたい・貸したい（所有者耕作中）

番号	所在地	地目	面積(ha)
1	北8線14号	田	4.3
2	北9線14号	田	5.7
3	※基線1号	田・畠	4.8
4	北9線10号	田	2.0
5	北8線13号	田	5.6
6	北4線11号	田	1.4
7	基線3号	田・畠	0.9

※売買希望

## 未相続の農地はありませんか？

登記名義人がお亡くなりになられた農地は、相続人が相続登記をする必要があります。

未相続のままの農地は、売買や転用ができません。また、相続権者が増えてしまい、登記処理に膨大な時間と経費がかかることがあります。

葬儀等が終了し、気持ちが落ちつかれた後でよろしいので、法務局への登記手続きをお願いします。

番号	所在地	地目	面積(ha)
9	基線1号	田	7.6
10	北4線14号	田	5.7
11	北4線12号	田	3.1
12	北3線5号	田	1.0
13	北4線10号	田	3.1
14	基線9号	田	4.6
15	北4線10号	田	1.2
16	北1線2号	田	2.9

## 泥んこだらけの バレー大会を開催



7月14日、北7線15号の特設会場で「ぴっぷ丸ごと水田！泥んこだらけのバレー大会2019」が開催されました。

この大会は、若い農業者たちが休耕田を活用して、ぴっぷの自然や農産物を広くPRすることを目的に企画され、入賞チームには、比布町のお米や農産物などが贈られています。

※この大会会場は、農地法の許可（一時転用）を受けて実施されています。



## 農業委員会からのお知らせ

農業委員会活動計画に対するご意見等の受け付けについて

農業委員会では、農業委員会だより2ページに記載している令和元年度比布町農業委員会活動計画について、皆さまからの意見等を受け付けています。

していますのでご確認下さい。また、議事録の閲覧を希望される方は、農業委員会事務局までお越し下さい。

## 農業委員会からのお願い

### 農地の管理について

農地利用状況調査等について  
毎年、全町の農地を対象に農地パトロールと併せて農地利用状況調査を実施し、耕作放棄地や無断転用等の早期発見と防止に努めています。  
お気付きの点などがありましたら、農業委員会までご連絡ください。

農地に雑草が繁茂すると、火災や病害虫の発生、不法投棄を招くなどの危険性があります。農地を所有している方、利用している方は、日頃から農地の管理に努めるとともに、刈った雑草は適正に処理し、周辺にお住まいの方に迷惑を掛けないようにならぬよう。

## 全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会組織の全国農業会議所が発行している週刊の農業総合専門紙です。

地方版には、地域の元気で特徴ある明るい話題や独自のイベント情報などが掲載されています。

# 全国農業新聞



- ・毎週金曜日発行
- ・B3版8~10頁建
- ・購読料：月700円  
(送料、税込み)

購読申し込みは、農業委員会まで。

## 編集後記

皆さんには、日頃より農業委員会に対し、深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

また、昨年は暮れからの根雪が遅く、あまり低温にならない中、大地に綿飴のごとく降り積もった雪が少なかったので、今年の融雪は早く、気温も例年よりも高いため、春作業は順調に進み、作物の生育も良くなっています。上川普及所の水稻の生育調査では、近年にない順調のようです。

この状態が収穫期まで続くことを期待して、編集後記とします。

(杉山 和行)

この状態が収穫期まで続くことを期待して、編集後記とします。

## 農業委員会総会の傍聴及び議事録の閲覧について

農業委員会では、農業委員会等に関する法律第32条及び第33条に基づき、農業委員会総会の公開及び議事録の縦覧を行っています。

農業委員会総会の開催日は、町広報紙やホームページに掲載されています。



### 加入の条件は3つ！

- ①国民年金第1号被保険者  
(国民年金保険料納付免除者を除く)
- ②年間60日以上農業に従事
- ③年齢は20歳以上60歳未満

### 終身年金！

- 年金は生涯受給できます。
- 80歳前に亡くなられた場合は、ご遺族に死亡一時金をお支払い。

### 保険料は全額社会保険料控除！

- 支払った保険料の全額が控除  
(最高80万4千円)

詳しくは  
農業委員会事務局又は  
農協管理課へ  
お尋ねください。



杉山 和行  
上西 孝一  
出口 和子  
和田 彰一  
信濃 斎藤 御園  
和子 則雄 正寛

編集委員